

## 見て見ぬふりの恐ろしさ

中 二

「普通の人」と聞いてみなさんはどんな人か、い浮かべるでしょうか。辞書で「普通」という言葉調べるとこんな意味が出てきます。「広く一般に通ずること」「変わっていないこと」「当たり前」この意味の通りだとしたら「普通ではない人」とはどのような人のことを言うのでしょうか。

なぜこのようなことを書いているのかというと、私はついこの前、ある場面に出会ってしまったからです。それは、駅のホームでのことでした。杖で点字ブロックをたどりながら歩いている若い女性を見かけました。その女性が券売機の前で立ち止まり、お財布からお金を出したとき、百円玉を一枚落としてしまいました。その人は目が見えないようにどこにお金が落ちたのか分からず、つえを使っ探して探していました。でも、誰もが見て見ぬふりをして通り過ぎていきました。私は拾おうと思いい、駆け寄ろうとしましたが、旅行かばんを持った別の女性が一足早く拾っていました。そしてそ

の後、お金を落としてしまった女性の手を取り、手のひらを上にしてお金を落とさないように、そつとのせていきました。目の見えない女性は手を取って渡してもらえたことで、安心したような表情をしていました。私は、世の中には見て見ぬふりをする人が多い中、この女性のように迷わず助けようとして、駆け寄ることが出来る人もいることを目の当たりにして、いろいろと考えることがありました。

その日、家に帰った私は、この出来事を母に話しました。そこで母からあることを教えてもらいました。「目の不自由な人を手助けするときは、杖を持つていない側に立って肘の上を持つこと」が助け方の基本だということです。今まで私はそのようなことを全く知りませんでした。その日はお金を拾おうと思いましたが、もしもホームや道で案内などをするときには、この基本を思い出して手を貸したいと思いました。いつもそういうことが起きるわけではありませんが、そのような場面に立ち会ったらすぐに行動できるような人になりたいと思いました。

もう一つ考えたことがありました。今回は目の

見えない人についてどのように手助けができるか学びましたが、世の中には耳が聞こえない人や、話すことができない人もいます。その人たちが困っていたら、私には何ができるのだろうかと思いました。二〇二〇年には東京オリンピックが開催されますが、パラリンピックの開催もあります。世界中からパラリンピックに関係する方々が来日します。そのときに、駅で見かけた見て見ぬふりをする人たちばかりの日本でよいのでしょうか。

私はいけないと思います。私一人が考えても大きく変わりませんが、考えないことはもつといけないことです。もし、耳が聞こえない人や話すことが困難な人がいたら、手話ができることが一番です。しかし、すぐに手話を覚えることは簡単なことではありません。だから、筆談やジェスチャーなどの手段で伝えたいです。そのためには、私自身もつと人と人に伝える力を身に付けていかななくてはいけないと思います。これは普段から母にも言われていることです。

辞書に載っていた「普通」という言葉の意味は違うと思います。人間は皆、平等で、体が不自由だからといって「普通ではない人」などと言って

はいけないのです。だから、健常者と障害のある人が助け合い、同じように生活できるように、もつと障害のある人の目線に立って物事を考えることが必要だと思います。

また、障害のある、ないにかかわらず困っている人がいたら、迷うことなく手助けをできる人でありたいと思います。